

白鳥

～夢に向かって、気づき・考え・行動する 児童の育成～

渡辺先生

私たち卒業生一同は、3月18日に、この千代田東部小学校を卒業します。先生との出会いから、今日までの日々は、私たちにとってかけがえのない宝物です。6年生になったばかりの頃は、不安と期待で胸がいっぱいでした。でも、先生の温かい笑顔と優しい言葉に、私たちはすぐに安心しました。

先生は、いつも私たちのことを真剣に考え、一人一人の個性と可能性を信じてくださいました。勉強が難しい時には、分かるまで丁寧に教えてくださり、私たちが目標を達成できるように、いつも励まし続けてくださいました。体育大会や次郎物語の劇などの学校行事では、先生は、いつも私たちと一緒に汗を流し、喜びを分かち合ってくださいました。

時には厳しく、時には優しく私たちを導いてくださった先生。先生のおかげで私たちは困難を乗り越え、大きく成長することができました。先生は、私たちに「知識」だけでなく、「人として大切なこと」も教えてくださいました。

友だちを思いやる心

努力することの大切さ

そして、夢を追いかける勇氣

先生の教えは、私たちの心に残り、これからの人生の道しるべとなることでしょう。

先生との思い出は、私たちの胸に深く刻まれています。

体育大会でみんなと力を合わせて「スタンプ」や「よさこい」を踊ったこと。

次郎物語の劇で、練習の成果を発揮し、みんなで最高の劇を作ったこと。

修学旅行で、友達と笑い合い、一生の思い出を作ったこと。

どんな時も、先生がいてくれたから、私たちは安心して学校生活を送ることができました。

先生、本当にありがとうございました。

先生の教えを胸に、私たちは未来に向かって力強く歩んでいきます。

いつか成長した姿を先生に見せられるように頑張ります。

先生もいつまでも生徒思いな先生でいてください。

一年間、本当にありがとうございました。

令和6年度 6年1組一同

令和7年3月14日 給食時間のサプライズ放送（原文通り）

6年生からのサプライズ放送

3月14日のお昼の放送で、6年生が、担任の渡辺先生への思いをサプライズ放送で伝えました。面と向かってはなかなか言いにくいことも、マイクを通してなら、スピーカーの向こう側の先生をイメージして伝えることができます。放送は、給食時間を過ぎ、昼休みに少しかかってしまいましたが、全校、誰一人遊びに行くことなく、時間が止まったように放送に耳を傾けていました。教室に一人残された担任が、子供たちの声に涙を流していたかは、誰も分かりません。